

活動報告書 2026年 第2四半期（4～6月）

一般社団法人ジャンティーク

代表理事 岩田健太郎

2026年4～6月の活動：フードパントリー

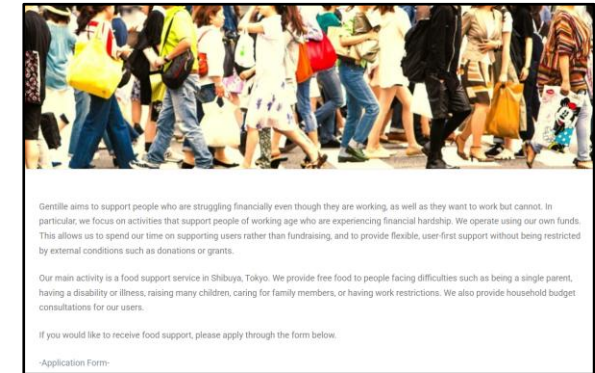
主な取組み状況

- ❑ 渋谷区笹塚区民会館にて、フードパントリーを11回開催し、延べ173世帯（1～3月は153世帯）に食品をお受け取りいただきました。活動開始以来、延べ597世帯がご利用されています。
- ❑ より多くの方にご利用いただく目的で、5月よりフードパントリーの開催回数を月3回から、月4回に拡充しました。また利用者の増加に伴い、食品保管庫を再び拡張しています。
- ❑ 既存の利用条件に該当しない方や、一時的な食糧支援のニーズを踏まえ、失業や低収入などで困窮している方は、最長で半年間に限り利用いただけるようにしました。
- ❑ 在留資格により就労に制限のある外国人（在留資格が留学、または特定活動かつ就労不可など）を利用対象に加えました。あわせて英文ページも新設しています。

再拡張した食品保管庫



新設した英文ページ



お配りした食品セット例



フードパントリー会場にて



2026年4～6月の活動：家計改善・生活相談

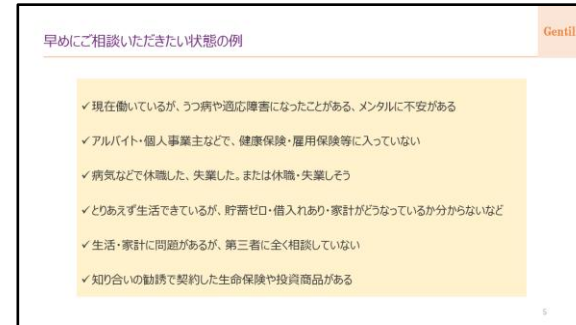
主な取組み

- ❑ 昨年末からパントリー利用者向けに、家計・生活改善、資産形成の無料相談を開始。相談はパントリー会場での対面・メール・オンライン面談などで行っており、1月から6月で合計16名からのご相談に対応いたしました。
- ❑ ご相談の内容は、家計全体の見直し、資産運用アドバイス、社会保障・セーフティーネットの活用など、多岐にわたります。テーマ別の勉強会も毎月開催しています。

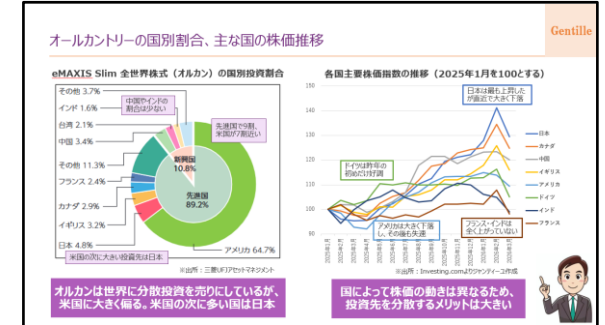
開催した勉強会

- ✓ 意外と知らない公的年金のメリット、iDeCoの使い方
- ✓ NISA・iDeCoの商品選び（前編）～やってはいけない資産運用とは～
- ✓ NISA・iDeCoの商品選び（後編）～資産運用の疑問を解消～
- ✓ 家計改善（前編）～支出見直しで黒字の家計に～
- ✓ もしもの時の保障を考える（前編）～亡くなった時～
- ✓ もしもの時の保障を考える（後編）～働けなくなった時～

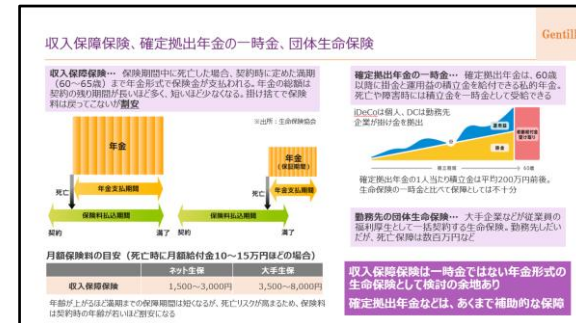
家計改善・生活相談 参考資料



勉強会資料（NISA・iDeCoの商品選び）



勉強会資料（もしもの時の保障を考える：前編） 勉強会資料（もしもの時の保障を考える：後編）



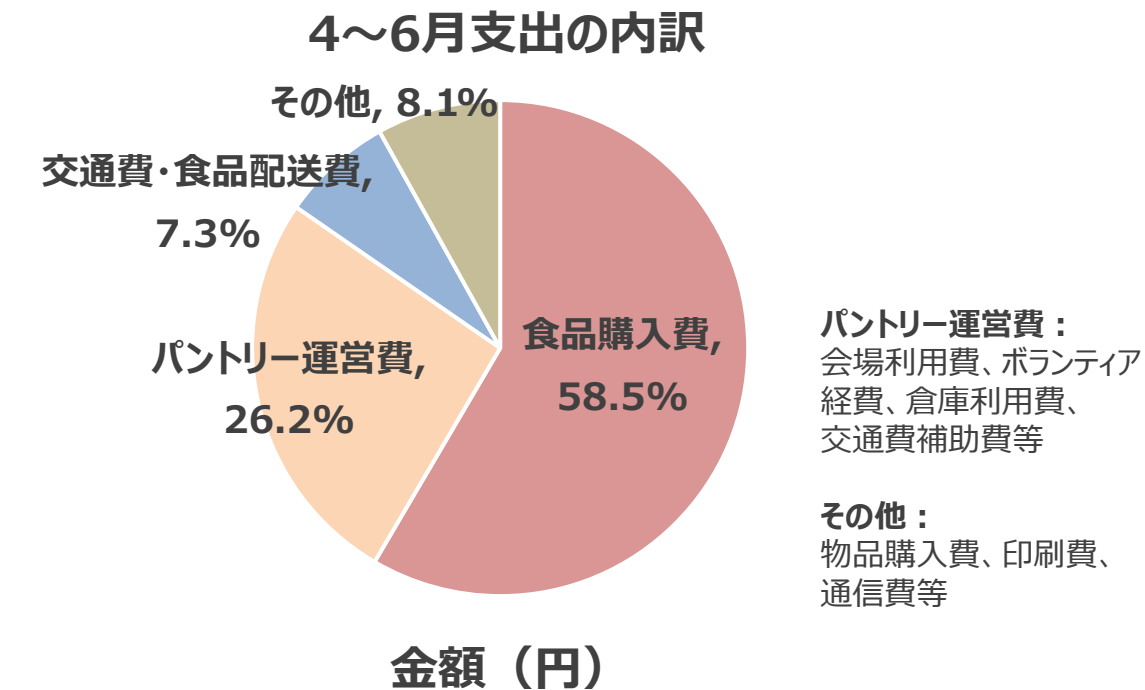
働けなくなった時の保障一覧

制度・サービス名	概要	金額イメージ	受取形式	分類
傷病手当 失業給付	傷病手当（健康保険）：病気やけがで働けなくなった時に支給される給付金 失業給付（雇用保険）：求職中が就職できなかった場合に支給される給付金	傷病手当：給与の2/3 失業給付：給与の45～80%	傷病手当：毎月（雇用保険） 失業給付：毎月（90～120日間）	公的給付
障害年金	公的年金加入者が、身体・精神の障害により生活や仕事に制限がある時に支給される年金	障害年金2級で年83.2万円（月6.9万円） 1級で年104.5万円（月8.7万円）	毎月（更新・納付が必要） （更新は1年ごと）	公的給付
生活保護	収入や資産を活用しても生活に困る場合、要件を満たせば国から受けられる保障	毎月（国による） （国による）	毎月（国による） （国による）	公的給付
就業不能保険	病気やけがで働けなくなった時に支払われる	月10～15万円程度が一般的	毎月（国による） （国による）	民間商品
生命保険等の 高額葬儀保険金	生命保険等の死亡保険金や、葬儀費用に充てられる	死亡保険金と同額または数倍（国による）	一括で受取り	民間商品
確定拠出年金の 障害一時金	iDeCo（個人型）、及びDC（企業型）加入者が支払った拠出金から、死亡や障害時に給付される	数千万～数億万円程度（拠出金総額による）	一括または年金形式で毎月受け取り可能	民間商品・勤務先

2026年4～6月の支出状況

支出について

- 4～6月の支出は合計502,146円（1～3月442,342円）になりました。食品購入費は293,526円（同306,822円）と微減ですが、これは3月分の在庫、渋谷区社会福祉協議会からの寄贈食品の活用によるものです。
- パントリー運営費が131,410円（同88,460円）に大きく増加しており、食品保管庫の拡張・開催回数と交通費補助費の増加などが要因です。その他は会計ソフトやボランティア保険の契約による一時的な支出です。
- 家計改善・生活相談はパントリー会場やオンラインで行っているため、実施に伴う特段の支出はありません。
- 本年2月の法人化後も、引き続き寄付金や助成金など外部からの資金提供は受けておらず、活動費用は全て自己資金から拠出しております。なお食品の寄贈は不定期で活用しております。



分類	4～6月	1～3月
食品購入費	293,526	306,822
パントリー運営費	131,410	88,460
交通費・食品配送費	36,600	34,220
その他	40,610	12,840
合計	502,146	442,342

設立から現在までの主な取り組み

- ❑ 2025年1月：非営利任意団体ジャンティークを設立
- ❑ 2025年3月：第1回のフードパントリーを笹塚で開催
- ❑ 2025年5月：パントリーの利用条件拡充①（利用対象に多子世帯を追加。特に生活にお困りの方の利用拡充）
- ❑ 2025年6月：区の相談窓口、他の支援団体・事業者等の利用者への紹介・情報提供を開始（パントリー会場でのチラシ配布等）
- ❑ 2025年7月：会場ボランティアスタッフの公募を開始
- ❑ 2025年9月：他団体様支援事業を終了（フードパントリー事業への資金リソース集中が目的。1団体のみ代表個人で寄付継続）
- ❑ 2025年10月：公共交通機関利用者へ交通費一部補助を開始
- ❑ 2025年11月：食品保管庫を移転・拡張（26年4月に再拡張）
- ❑ 2025年12月：他団体からの寄贈食品を配布（以後、食品の寄贈は不定期で活用）

- ❑ 2025年12月：家計改善・生活相談の無料プログラムを開始
- ❑ 2026年1月：パントリーの利用条件拡充②（子が二人以上の世帯の利用拡充）
- ❑ 2026年2月：任意団体から一般社団法人へ法人化
- ❑ 2026年4月：パントリーの利用条件拡充③（経済的困窮による一時的利用を可能に）
- ❑ 2026年6月：パントリーの利用条件拡充④（利用対象に就労制限のある外国人を追加）

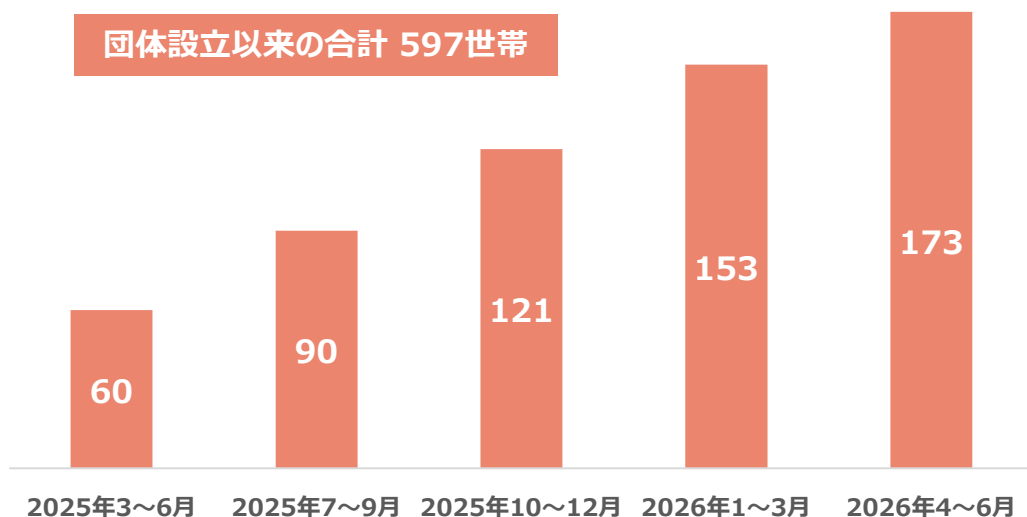
一般社団法人ジャンティーク 事業目的（定款記載事項）

当法人は、ひとり親、障害、疾病、その他の理由により、社会的または経済的な困難を抱える方に対する生活支援を目的とし、その目的に資するために次の事業を行う。

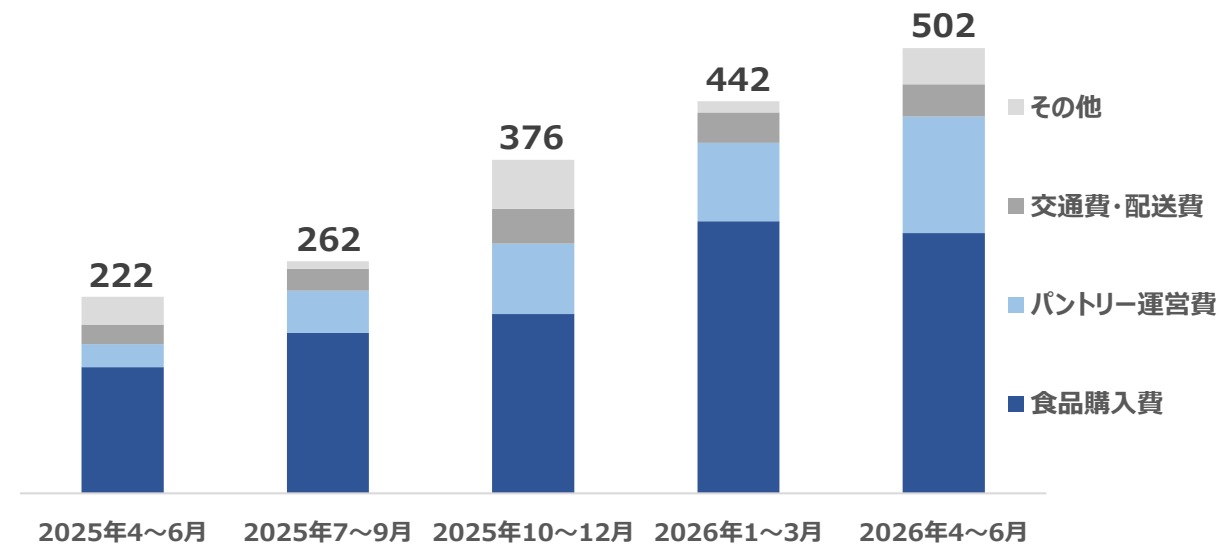
- (1) 食品及びその他生活支援に資する物品等の無償配布
- (2) 行政機関、支援団体、事業者等との連携及び協力
- (3) 家計管理、生活改善、就労等に関する個別相談
- (4) 各種講座、講演会、イベント等の企画、開催及び運営
- (5) 人材育成及び教育研修
- (6) 活動関連物資の受付、管理及び提供
- (7) 国、関係官公庁への政策提言及び社会一般に対する啓発
- (8) 社会的課題に関する調査及び研究
- (9) その他当法人の目的を達成するために必要な事業

フードパントリーのご利用実績、支出金額のまとめ

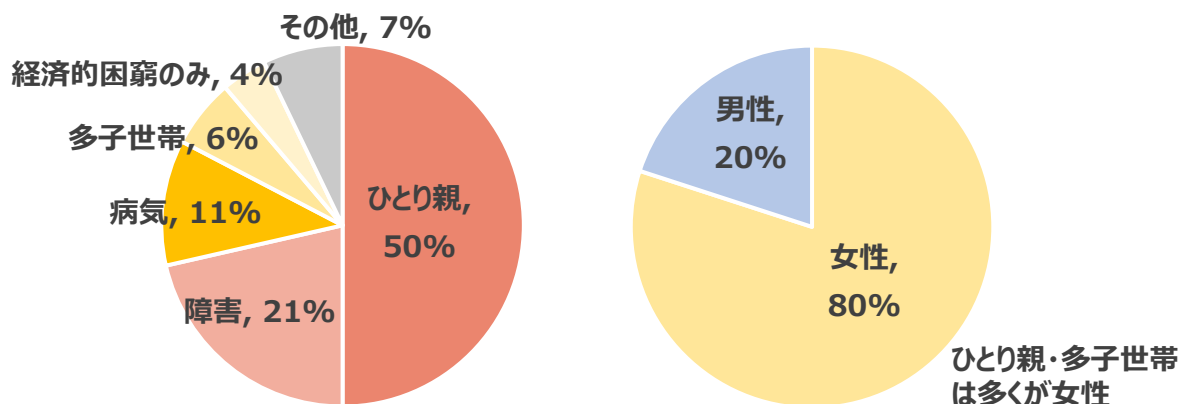
フードパントリー利用数の推移（延べ世帯数）



支出金額の推移（単位：千円）



利用世帯の内訳



支出金額 団体設立以来の合計

支出分類	金額（円）
食品購入費	1,126,069
パントリー運営費	372,500
交通費・食品配送費	156,970
その他	148,616
合計	1,804,155

※26年6月時点で利用実績がある合計98世帯

※活動報告書は任意の開示資料であり、法定の決算公告ではありません